

2014年1月6日

2014年 医療機器市場の現状と今後の動向

国内医療機器市場規模について

我が国の医療機器市場規模は、平成12年以降平成15年度までほぼ横這いで推移していたが、平成16年以降増加し、2兆円超の市場規模で推移。平成23年は約2.4兆円となり過去最大の市場規模となった。

- * 景気の影響を受けにくく、安定した需要。
- * 我が国の医療費は、平成22年度は37.4兆円で、医療機器市場はその6%強となっている。医療費の伸びにともない、今後漸増が見込まれる。

世界における日本の医療機器市場の位置づけ

世界市場は拡大するが、国内市場は輸入超過年

- * 高齢化の進展と新興国における医療需要拡大を受け、医療機器の世界市場は約8%の成長率を維持しており、約1949億ドル(2007年)→約4344億ドル(2017年)と、今後も拡大すると予測されている。
- * 一方、わが国のものづくり企業は医療機器に活かすことができる高い技術を有しているにもかかわらず、現状の国内医療機器市場は、貿易収支全体で輸入超過で推移。

- * 日本の医療機器市場規模は、約2.4兆円(2011年)

また、欧米主要メーカーが医療機器と医療サービスをパッケージとした積極的な海外展開を推進する中、日本は遅れをとっている。

- * 世界市場において国内企業では、オリンパス(16位)、テルモ(21位)、東芝メディカル(23位)、日立メディコ(41位)。

- * 医療機器市場(約2.4兆円)のうち、金額ベースでは治療機器(カテーテル、ペースメーカー等)が53%、診断機器(内視鏡、CT、MRI等)が26%を占める。一般的に治療機器の成長率が高く、市場規模も大きい。

現状は約6000億円の輸入超過

<参考>

世界の主要医療機器メーカーの売上高順位（2008年）

1	ジョンソンエンドジョンソン（米）	（手術用医療機器）
2	GE（米）	（CT, MRI）
3	シーメンス（独）	（CT, MRI）
4	フレゼニウス（独）	（透析機器）
5	メドトロニック（米）	（ペースメーカー）
6	フィリップス（蘭）	（MRI, 超音波診断）
7	ホストサインティフィック（米）	（ステント、カテーテル）
.....		
16	オリンパス（日）	（内視鏡）
21	テルモ（日）	（カテーテル）
23	東芝メディカル（日）	（CT, MRI）
41	日立メディコ（日）	（CT, MRI）

以上